

別紙1 ハードウェア等仕様

1	中継HUB（8ポート）	賃貸開始日から5年間のハードウェア保守を付帯すること。	
		<b>仕様</b>	
	機器構成（1台あたり）	10/100/1000Base-T（RJ-45）ポートを8以上有すること 転送レートが26Mpps以上であること 使用可能なVLANID数が4000以上であること 既設のHUBボックスにケーブル結線状態で設置が可能なこと マウントキットが必要である場合はキットを含むこと ※設置環境に応じて適切な部材を用意すること	
	機能	IEEE802.1qに準拠したVLAN機能を有すること IEEE802.1pに準拠した優先制御機能を有すること IEEE802.1dに準拠したスパンニングツリー機能を有すること IEEE802.1wに準拠した高速スパンニングツリー機能を有すること ユニキャスト、マルチキャスト、およびブロードキャストストームを制御する機能を有すること ACL機能を有すること SNMPを使った管理が可能なこと コンソール、Telnet、SSHで管理できること syslogなどのログ出力をサポートしていること NTP又はSNTP機能を有すること コンソールポート（RJ-45）を有すること ファンレスであること 設置環境を考慮し、動作温度は-5℃～50℃に対応可能であること	
2	中継HUB（16ポート）	賃貸開始日から5年間のハードウェア保守を付帯すること。	
		<b>仕様</b>	
	機器構成（1台あたり）	10/100/1000Base-T（RJ-45）ポートを16以上有すること 転送レートが26Mpps以上であること 使用可能なVLANID数が4000以上であること 既設のHUBボックスにケーブル結線状態で設置が可能なこと マウントキットが必要である場合はキットを含むこと ※設置環境に応じて適切な部材を用意すること	
	機能	IEEE802.1qに準拠したVLAN機能を有すること IEEE802.1pに準拠した優先制御機能を有すること IEEE802.1dに準拠したスパンニングツリー機能を有すること IEEE802.1wに準拠した高速スパンニングツリー機能を有すること ユニキャスト、マルチキャスト、およびブロードキャストストームを制御する機能を有すること ACL機能を有すること SNMPを使った管理が可能なこと コンソール、Telnet、SSHで管理できること syslogなどのログ出力をサポートしていること NTP又はSNTP機能を有すること コンソールポート（RJ-45）を有すること ファンレスであること 設置環境を考慮し、動作温度は-5℃～50℃に対応可能であること	
3	中継HUB（24ポート）	賃貸開始日から5年間のハードウェア保守を付帯すること。	
		<b>仕様</b>	
	機器構成（1台あたり）	10/100/1000Base-T（RJ-45）ポートを24以上有すること 転送レートが40Mpps以上であること 使用可能なVLANID数が4000以上であること 既設のHUBボックスにケーブル結線状態で設置が可能なこと マウントキットが必要である場合はキットを含むこと ※設置環境に応じて適切な部材を用意すること	
	機能	IEEE802.1qに準拠したVLAN機能を有すること IEEE802.1pに準拠した優先制御機能を有すること IEEE802.1dに準拠したスパンニングツリー機能を有すること IEEE802.1wに準拠した高速スパンニングツリー機能を有すること ユニキャスト、マルチキャスト、およびブロードキャストストームを制御する機能を有すること ACL機能を有すること SNMPを使った管理が可能なこと コンソール、Telnet、SSHで管理できること syslogなどのログ出力をサポートしていること NTP又はSNTP機能を有すること コンソールポート（RJ-45）を有すること ファンレスまたは回転数が調整できるファンであること。 設置環境を考慮し、動作温度は-5℃～50℃に対応可能であること	
4	中継HUB（48ポート）	賃貸開始日から5年間のハードウェア保守を付帯すること。	
		<b>仕様</b>	
	機器構成（1台あたり）	10/100/1000Base-T（RJ-45）ポートを48以上有すること 転送レートが40Mpps以上であること 使用可能なVLANID数が4000以上であること 既設のHUBボックスにケーブル結線状態で設置が可能なこと マウントキットが必要である場合はキットを含むこと ※設置環境に応じて適切な部材を用意すること	
	機能	IEEE802.1qに準拠したVLAN機能を有すること IEEE802.1pに準拠した優先制御機能を有すること IEEE802.1dに準拠したスパンニングツリー機能を有すること IEEE802.1wに準拠した高速スパンニングツリー機能を有すること ユニキャスト、マルチキャスト、およびブロードキャストストームを制御する機能を有すること ACL機能を有すること SNMPを使った管理が可能なこと コンソール、Telnet、SSHで管理できること syslogなどのログ出力をサポートしていること NTP又はSNTP機能を有すること コンソールポート（RJ-45）を有すること ファンレスまたは回転数が調整できるファンであること。 設置環境を考慮し、動作温度は-5℃～50℃に対応可能であること	

別紙1 ハードウェア等仕様

5	アクセスポイント管理ライセンス	賃貸借開始日から5年間のライセンスを付帯すること。		
		<b>仕様</b>		
		品名	UNIFASクラウド	
		機能	199台まで管理できること	
6	DNSサーバアプライアンス	賃貸借開始日から5年間のライセンスを付帯すること。		
		仕様		
		機器構成 (1台あたり)	ハードディスクドライブを搭載せず、フラッシュメモリから起動すること。	
			ネットワークインターフェイスとして、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートを4つ以上有すること。	
			EIA規格19インチラックに固定可能であること。ラック占有は1RU以下であること。	
			5年間先出センドバック保守サービスを付帯すること。	
		機能	DNS(Domain Name System)サーバ機能を有すること。	
			正引きゾーンと逆引きゾーンを登録できること。	
			ゾーン数の最大は200以上であること。	
			レコード数の最大はプライマリ/セカンダリゾーン合わせて10,000以上であること。	
DNS Firewall 機能を有し、受信したDNSクエリに対して脅威情報を参照し、マルウェア等による不正な通信先へのアクセスを防止できる				
常に最新の状態の脅威情報を利用するため、クラウドと連携して受信したDNSクエリの判定を実施すること。				
使用するクラウドサービスは日本国内で提供し、各種設定やログなど、取得した全ての情報は海外に移転されないこと。				
	アクセスを許可、拒否するドメインを任意に指定する機能を有すること。			
	DNSクエリの判定状況を一覧として表示する機能を有し、名前解決を許可および拒否したドメインの情報やカテゴリをさらに掘り下げて参照			